

中国十大品牌教育集团 中国十佳网络教育机构

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 上市公司 实力雄厚 品牌保证 | <input checked="" type="checkbox"/> 权威师资阵容 强大教学团队 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 历次学员极高考试通过率 辅导效果有保证 | <input checked="" type="checkbox"/> 辅导紧跟命题 考点一网打尽 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 辅导名师亲自编写习题与模拟试题 直击考试精髓 | <input checked="" type="checkbox"/> 专家 24 小时在线答疑 疑难问题迎刃而解 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 资讯、辅导、资料、答疑 全程一站式服务 | <input checked="" type="checkbox"/> 随报随学 反复听课 足不出户尽享优质服务 |

开设班次：（请点击相应班次查看班次介绍）

基础班	串讲班	精品班	套餐班	实验班	习题班	高等数学预备班	英语零起点班
-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------	--------

网校推荐课程：

思想道德修养与法律基础	马克思主义基本原理概论	大学语文	中国近现代史纲要
经济法概论（财经类）	英语（一）	英语（二）	线性代数（经管类）
高等数学（工专）	高等数学（一）	线性代数	政治经济学（财经类）
概率论与数理统计（经管类）	计算机应用基础	毛泽东思想、邓小平理论和“三个代表”重要思想概论	

[更多辅导专业及课程>>](#)[课程试听>>](#)[我要报名>>](#)

浙江省 2010 年 7 月高等教育自学考试
日本文学选读试题
课程代码：00612

请将答案填在答题纸相应位置上

一. 次の文の ____ の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

(1×10=10 点)

1. 朝寝坊しているので、屠蘇を祝うのは 10 時か 11 時頃になる。
2. その息苦しい憂鬱に耐え切れなかった。
3. この相互理解の喜びに、すべての友情の端緒があると思われます。
4. 尊彦の口調にはまだどこか意地の悪い響きがあった。
5. いい加減な生返事をした。
6. k が理想と現実の間に彷徨してふらふらしているのを発見した。
7. 母親の控えめな声が出た。
8. 全篇冬の道を辿る旅人の孤独な姿を描いて、人生の寂寥を歌っている。
9. 浴衣がもう貴重品になっていた。
10. 不器用に体を振りながら歩く形が思われた。

二. 次の ____ の言葉の解釈として、最も適当なものを、あとの

A、B、C、D の中から一つずつ選びなさい。(2×10=20 点)

1. 無理に美しい別れに拘泥することはない。
A 一部分 B こだわること C ありったけ D はずかしい
2. 車の厄介になる煩わしさを思うと、なかなか腰が上がらない。
A 面倒で手数のかかること B うまくいかなかった
C 面倒くさい D 手がかかる
3. 鋭い朝日の光が、いつしか横ざまに直射していた。
A いつのか B いつか C 知らないうちに D しかない
4. 卑劣なやり方で入れようとしてもその手にのるものか。
A 手にする B 手に入る C 手を借りる D 騙される
5. ある塩頭の男が入って来た。
A 頭に塩がある B 白い髪
C 黒い髪と白い髪と混じった頭 D 黒い髪
6. こんなたわいのない話だったのか、と拍子抜けした彼女は、あれほど頭に血を昇らせていた自分がばかばかしく思えた。
A 怒る B とほうもない C 不意を打たれて D がっかりすること
7. その上こういう遊技をやりつけないkは、まるで懐手をしている人と同様でした。

- A 手を懐に入れる B 人に任せて、自分は何もしない
C 手数をかける D 人に任せても、自分もする
8. いい加減な生返事をしたなり、うちやっておきました。
A 問わずに放っておいた B 放って置く
C かまわずに放っておいた D 放っておく
9. 理想的な友人の邂逅にあつては、お互いその精神生活の無二の糧となる。
A 出会う B めぐり合い C 会い D 会合
10. 若さがどんな苦境も克服していけよう、私はあえて彼女の出發を引きとめようとはしていない。
A わざわざ B いきいき C なかなか D せいぜい

三. 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

(2×5=10 点)

……

恋とは、そんなにさっぱりと、①ものわかりのいいものではない。
いいどころか、むしろ②独善的である。
相手もまわりの人も、だれも傷つけない愛などというものはない。それは、
傷つけていないと思うだけで、どこかの部分で、他人を傷つけている。
愛というのは③所詮、利己的なものである。
だから傷つけていい、という理屈はもちろん成り立たない。他人を傷つける
のは、できるかぎり少なくしなければならない。

……

問い1：傍線①の「ものわかり」はどんな意味か。(2点)

問い2：傍線②の意味を簡単に説明しなさい。(2点)

問い3：傍線③の漢字の読み方を平仮名で書きなさい。それから簡単に説明しなさい。(2点)

問い4：なぜだれも傷つけない愛などはないのか。文中の言葉で簡単に説明しなさい。(2点)

問い5：愛というのは所詮、利己的なもので、他人を傷つけてもいいのか。(2点)

四. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(3×5=15 点)

ここは①アベックが多い。あんまり若くない、三十歳前後のふたりづれが目立つ。こんな遅い時間に名月を眺めに嵐山まで来て、人の去るのを待つ風流心は、その年頃の人が一番多いのかと思う。

月を見てしゃべる人はあまりいない。花見の客が酔っていたり、高笑いしたり、②はしゃいで③喋り散らすのと対照的で、まことに静かである。

(中略)

私は籠に、芒、萩、女郎花、吾亦紅、桔梗などを、わが庵の庭や、野の道から摘んで来させて生けさせた。どの少女たちも、月見の夜、秋の花をつんできたり、籠にいけたりして、月見団子や、栗や芋そなえる月見の台を作る時は、熱心になって④はりきっている。

嵯峨の月見団子は白い餅の頭をちょっぴりだし、外はあんこでくるんだ子鼠みみたいな形をしている。まるい白い団子の方が盛りやすいので、それはないかというと、

「京都の月見団子いうたらこれどす。名月は芋名月どっしゃろ」

と、菓子屋の主人は昂然という。嵯峨に来て、このきぬかつぎ型の団子にもすっかりなじみになってしまった。

毎年、そうなのだが、嵯峨野を廻って、あらゆる場所から月を眺め、帰って寂庵の庭から仰ぐ月が、結局は最も美しい。

嵯峨で、こんな月見にいい場所はまたとあるまいと思う。

問い 1 : 傍線①の「アベック」はどんな意味か。(3 点)

問い 2 : 傍線②の「はしゃぐ」の意味を簡単に説明しなさい。(3 点)

問い 3 : 傍線③の漢字の読み方を平仮名で書きなさい(1 点)。また意味を簡単に説明しなさい。(2 点)

問い 4 : 傍線④の意味を簡単に説明しなさい。(3 点)

問い 5 : 作者は嵯峨のどこで月見をするのが一番美しいと思っているのか。説明しなさい。(3 点)

五. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(5×5=25 点)

道がつづら折になって、いよいよ天城峠に近づいたと想うころ、①雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい速さでふもとから私を追ってきた。

……

ととんとんとん、激しい雨の音の遠くに太鼓の響きがかすかに生まれた。

私はかき破るように雨戸をあけて体を乗り出した。②太鼓の音が近づいてくるようだ。雨風が私の頭をたたいた。私は目を閉じて耳を澄ましなが、太鼓がどこをどう歩いてここへ来るかを知らうとした。間もなく三味線の音が聞こえた。女の長い叫び声が聞こえた。にぎやかな笑い声が聞こえた。そして芸人たちは木賃宿と向かい合った料理屋のお座敷に呼ばれているのだとわかった。二、三人の女の声と三、四人の男の声とが聞き分けられた。そこがすめばこちらへ流して来るのだらうと待っていた。しかしその酒宴は陽気を超えてばか騒ぎになっていくらしい。女の金切り声が時々稲妻のように闇夜に鋭く通った。私は神経をとがらせて、いつまでも戸をあけたままじっと座っていた。太鼓の音が聞こえる度に胸がほうと明るんだ。

.....

しばらく低い声が続いてから、踊り子の言うのが聞こえた。「いい人ね。」「それはそう、いい人らしい。」「ほんとにいい人ね。いい人はいいね」。この物言いは単純であけっ放しな響きをもっていた。③感情の傾きをぼいと幼く投げ出してみせた声だった。私自身にも自分をいい人だと率直に感じることができた。晴れ晴れと目を上げて明るい山山を眺めた。まぶたの裏がかすかに痛んだ。二十歳の私は自分の性質が孤児根性で、ゆがんでいる厳しい反省を重ね、その息苦しい憂鬱に耐え切れないで伊豆の旅に出て来ているのだった。だから世間尋常の意味で、自分がいい人に見えることは言いようなく、ありがたいのだった。

問い1：下線部①「雨脚」の読み方を平仮名で書きなさい（2点）。意味を簡単に説明しなさい。（3点）

問い2：下線部②の「太鼓の音」は何の象徴か、簡単に答えなさい。（5点）

問い3：下線部③の意味を簡単に説明しなさい。（5点）

問い4：この小説での最も重要な言葉をこの最後の段落から抜き出しなさい。（5点）

問い5：「伊豆の踊り子」の主題を八十字以内でまとめなさい。（5点）

六. 次の文章を現代日本語に訳しなさい。（20点）

ゆく川の流は絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある、人とすみかと、またかくのごとし。